2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名［熊本大学教育学部附属小学校 ］　担当教諭［ 前田陽子 ］			
児童生徒の学年・クラス・参加人数：［ 5年1組40名］［5年 2組40名］［ 5年 3組 40名］			
実施期間： 2009年　6 月 ～ 2009 年　　月			
交流：無 ・ 有　国名[カナダ] 学校名［ W.H.Day ES ］学年［ 5 ］担当教諭［ Mali Bickley ］ 国名［ インド ］学校名［ Crescent School ］学年［ 10～12歳 ］担当教諭［ C.Arul Raj ］ 国名［ スリランカ ］学校名［ Horavinna ES ］学年［ 5 ］担当教諭［ Thusithe Jayawardena ］			
実施教科・時数 アートマイルに関連した時間すべて（総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう）。必要に応じて行を追加してください。	教科	単元名	時数
	図工	広がれ アート	8
	外国語活動	好きな食べ物をたずねよう	4

■作品について教えてください。

題（テーマ）	1組 一緒に食べよう 2組 一緒に遊ぼう 3組 一緒に学ぼう
絵に込めたメッセージ	1組 熊本とインド，それぞれの国の食べ物をテーブルにのせ，会話とともに食べ物を楽しむことができる平和な世界をつくりたい！ 2組 シャボン玉で一緒に楽しく遊ぶことができる平和な世界をつくりたい。シャボン玉の中に平和に過ごす子どもたちの姿を描き，ともに平和な世界を願っている様子を表した。 3組 同じ学校で共に楽しく学ぶことができる学校こそ平和の証だと考えている。子どもたちが学べる学校がある，今自分たちが学んでいる学校こそ平和であるということだと考えた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6 月 後半	・アートマイルについて知る。 ・自分が考える「平和」について絵に表す。	どの学級も，交流する相手国と共同で制作することに関心をもっていた。また，自分が考える『平和』を具体的に絵にすることに大変興味深く取り組んでいた。	図工
情報収集	6月 7月	・アートマイルの昨年までの作品を鑑賞する。 ・交流する相手校に送る動画を作成する。（好きな食べ物を尋ねる）	インターネットでJAMのホームページを見ることから始めたが，一つ一つの絵についてじっくり鑑賞し，気付いたことを発表し合う話し合いでは大いに盛り上がった。 外国語活動では，交流する相手校に動画を送るということで，目的をもって活動に取り組むことができた。	図工 外国語活動
テーマ検討	7月	・制作する壁画のターマについて話し合う。	「平和」とはどんなものか，それぞれが考えて描いた絵を紹介し合いながら，学級として壁画にのせたいものについて話し合った。『これだけは描きたい。なぜなら～だから。』と意見を出し合い全体での構図を話し合う場面ではみんな真剣であった。	図工

制作		・下絵チームが下絵を制作する。 ・グループに分かれて色をぬる。	・下絵の制作は，休み時間を利用して数人で行ったが，５～８人の下絵チームで協力して制作することができた。 ・40人を10班に分け，担当場所を分担して色塗りを行ったが，どの子どもも楽しく色をぬっていた。	図工
鑑賞	未定		（まだ，どの学級も絵が届いていないために，鑑賞はしていない。）	

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5：とても身についた　4：身についた　3：どちらともいえない　2：あまり身につかなかった　1：まったく関連がなかった）

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル		5・4・③・2・1	学級担任として，相手校との交流を継続的，計画的に行うことができなかったから。
情報活用能力（収集・発信）		5・4・③・2・1	限られた時間（図工，外国語活動）での実践であったために，学習内容を深めるための活動（交流や情報発信のための手立てができず）を十分に行うことができなかった。
人間関係をつくる（交流相手・学級内）	3	5・④・3・2・1	・相手校との交流は不十分であったが，学級内では共同作業や話し合いの機会を多く取ることができたから。
協同作業をする力（役割・段取り）	4	⑤・4・3・2・1	壁画を制作するだけでなく，どのように活動を進めていくかということも子どもたちとともに話し合い進めることができたから。
異文化の理解	2	5・④・3・2・1	具体的な相手校や，相手の姿をネットを通してみることができたことはとても効果的であった。
自文化の理解・自分を見つめる	1	5・④・3・2・1	『平和』とは何かを話し合う中で，今の自分たちを振り返ることができたから。
表現力	5	5・④・3・2・1	話し合いでの『自分の考えを伝え合う』場，「平和」について絵で表す場において，特に表現力を発揮することができたと思う。
学習を追究する意欲		5・4・③・2・1	『総合』として探究的な活動を行うことができなかった。
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	JAM の HP より，昨年までの作品を鑑賞した際に，テーマと描いていルモの，また描き方など話し合うことができた。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
・海外の学校との交流で，相手を意識した活動ができたこ	・図工と外国語活動だけでは，探究的な学習を深めることが

と。 ・外国語活動として行う際に，相手意識や目的意識をもった活動として，子どもたちにとって意欲的な活動につながるものとなった。	難しかった。 ・専科としての取り組みであったために，活動の継続が難しかった。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
・学校新聞において，アートマイルの取り組みを紹介した。 ・学校の掲示板に交流の様子や，相手校から届いた手紙や絵を掲示した。	・興味をもった保護者より，インド旅行の際手に入れたサリーやインドのカレンダーなど，子どもたちの学習に生かして欲しいとインドの様々なものを提供していただいた。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

今回初めて参加させていただきましたが，多くの学びまた反省があります。「世界と直接つながる喜びを子どもたちに味わわせたい」とずっと願っておりましたので，JAM のプロジェクトは，私にとってとても興味深く参加できて嬉しいものでした。しかし，専科として3学級，3カ国の学校との交流には少々無理があったかもしれません。3学級が3カ国の情報をさらに交流できればとの構想もあったのですが，本校は21年度総合的な学習の時間がなくなり（新教科の開発が始まったため），総合での時間で探究的な学習を深めることができませんでした。しかし，価値ある教材であることは十分感じられました。このプロジェクトを子どもたちのためにどう生かしていくべきか，また次回参加することでさらに学んでいきたいと考えています。

学んだことを情報として発信していくことを大事に次回も取り組んでみたいと考えています。（本年度は3年生の担任となりましたので，是非担任として参加したいと思います！）